

前回会議での主なご意見

想定事業概要シート（案1）

所属名：北区役所 子育て支援課

■子どもの生きる力を育む支援に関する事業

施策・事業名称	生きる力を育むプログラム事業	(新規)
事業内容	<p>「生きる力の基礎養成」に特化した事業や取組は、これまで北区の子育て支援事業実施計画の中で重要視されているものの十分に実施できていなかった。</p> <p>これを改めるべく、主に学齢期に達したばかりの子どもを対象に、自らの意思と責任で主体的に思考・判断・決定・解決できるよう、学習、食、生活習慣に関する支援を行うとともに、様々な体験活動を通じて子どもの「生きる力」を育む。</p>	

【主な意見】

- ・大泉緑地での冒険などは好奇心旺盛な子どもにとって楽しめるし、色々な方とのつながりもできるのですごくいい取組だと思ったが、協力してもらう方の負担が気になり。
- ・継続性、規模、場所を詰めていく必要がある。継続性の観点から3回というのは少ないと思う。関係が作られた後そのまま終わってしまうのはもったいない。
- ・小学1年生にとって大学生は大人。もう少し年齢の近いお兄（姉）さんの存在にもボランティアとして参加してもらえたら色々な人と交流できていいと思う。
- ・食育で日常生活に直結するよう、朝食を作れるようになるなどがあると良いと思う。
- ・イベント実施の際、学校と連携した広報はできないか。
- ・各小学校区で実施するべき。地元の小学校と連携して実施するなどして広げていかなければならないと思う。
- ・3回の実施は少なすぎる。例えば合宿などといった形にすると指導してくれる人の背中を見ながら学べると思う。
- ・子ども食堂は近年増えており堺市に80か所以上ある。子ども食堂と学生ボランティアと一緒に実施というのは素晴らしいこと。ただ、北区に子ども食堂が14か所もあるのに3か所というのは少なすぎると思う。
- ・まず、つながって、ひろがって、続けることで子どもの生きる力を育むことにつながっていけばいいと思う。また、親も地域も成長できるという視点を入れるのが必要。
- ・3回実施ではつながったり、ひろがったりするには不十分。継続していくことが大切。

想定事業概要シート（案2）

所属名：北区役所 子育て支援課

■子どもの生きる力を育む支援に関する事業

施策・事業名称	子ども向けアンガーマネジメント事業	(新規)
事業目的	生きる力の基礎には、感情のコントロールや自分の気持ちをうまく表現することも含まれる。子どもが成長するにつれて、家庭や友人、学校等の集団生活、地域の大人たちなど様々な関わり合いを持つ中、対人トラブルが起こった時に適切に対処できることが求められる。怒り等の感情が湧き上がってきた時にそれを抑える方法や自分の気持ちの表現方法などのアンガーマネジメントを学ぶ機会を提供することで、円滑な人間関係を築く基礎を育成する。	

【主な意見】

- ・アンガーマネジメント講座を実施することが目的とならないように注意しなければならない。
これらは手段でしかなく目的は子どもが生きる力を育むことなどであることを忘れてはいけない。
- ・アンガーマネジメントについて子どもが感情をコントロールするのはもっと大きくなってからと思う。
小学校1年生だと感情表現して学ぶことが多いと思う。
- ・やわらかい内容の講座名、親子で気軽に参加できるようなタイトルにすればいいと思う。おそらく保護者にとってはアンガーマネジメントといってもピンとこないと思う。
- ・子どもは怒りでも何でも表現して、相手の反応を見て学ぶことが大切と思っていた。
- ・大人になり、トラブルが起こった時、周りに解決を委ねることがよくあるが、そうではなく自分でトラブルを解決する力を子どもの時から養っていくことが大切と思う。
- ・アンガーマネジメントは大切なことと思うが、子どもだけではなく「親子で一緒に学ぶ」としてほしい。
子どもは周りの大人や環境から学ぶことがほとんどである。子どもは「言ったったこと」はやらない、「やったよう」にする。周りの大人がいかに接するかが大事と思う。
- ・アンガーマネジメント講座は、区が学校の場所を借りるだけでもいいので学校で実施してほしい。
なぜなら、学びの保障をしてほしいからです。イベント的に実施すると講座に参加するかどうかは親の意見になってしまい、子どもが参加するかどうかを選択はできません。
- ・単なるイベントで終わらせないため、地域、保育園・幼稚園・小学校とも連携し、実施することが大事。
- ・「友達とうまくつながる」など、参加したいと思われるタイトルにする必要がある。

想定事業概要シート（案3）

所属名：北区役所 企画総務課

■孤立を防ぐ子育て世帯間や地域とのつながりに関する事業

施策・事業名称	地域 SNS におけるつながり醸成事業	(新規)
事業目的	<p>区が推進する地域 SNS ピアッザの MAP 上に、子育てサークル、子ども食堂などの情報や保育施設による園庭解放の情報などをスマホで気軽に一覧できる機能を新たに追加し、地域の子育て支援施設等を身近に感じてもらう。また、子育て支援施設等には同 SNS をイベントなどの PR の場として活用してもらい、タイムリーに情報を得られる SNS とすることで支援側と支援を受ける側のマッチングを図る。</p> <p>さらに、同 SNS 上で子育てに関する相談事を気軽に送信できるリンクを作成し、いつでも相談できる公的な機関があることを周知することで、いざという時に助けられる先とつながっているという安心感を醸成する。</p>	

【主な意見】

- ・ターゲットである未就学期の子育て世帯は SNS を十分に活用できているとは思いますが、デジタルに弱い方もいると思うので、ピアッザの周知は紙の媒体でも実施してほしい。
- ・若い世代にとって情報収集・発信しやすいため、SNS を通じてというのは良いと思うが、あくまでハイブリッドであるべき ツールが多様になったひとつと考えるべき。
- ・相談者数が成果指標となっているが、相談内容には重たいものから軽いものがあると思う。また、人によっては相談しやすい人、しにくい人あると思う。
- ・相談しにくい人に向けて、こういった相談事例があって、こんな道筋で解決した、または解決までいたらないがこのようなことを知ることができた、こんなサポートがあった、といった事例集のようなものがあれば「こんな些細なことでも相談して大丈夫なのだ」と利用者の安心感につながり、相談者数の増加につながるのではないかと。
- ・アプリのことを知らない方に対して、北区のホームページ上で、このような時は子育て応援アプリ、このような時はピアッザなどを示し、利用者にとってのメリットなどをわかりやすく伝えればよい。
- ・ピアッザと子育て応援アプリとのすみ分けやリンクはどうなっているかなどを教えてもらえれば、子育てアドバイザーとして子育て家庭を訪問する際にピアッザの利用を伝えていこうと思っている。
- ・利用をおすすめする立場にとってもわかりやすいように北区ホームページに掲載するなど周知してほしい。